**電動化およびカーボンニュートラルへの対応状況に関する**

**アンケート調査への協力のお願い**

日本は２０５０年までにカーボンニュートラル（CN）の実現を目指すことを宣言しました。その取組の一つとして、２０３５年までに乗用車新車販売で電動車１００％を実現できるよう、包括的な措置を講じるとしています。このようなことから、自動車関連製品を生産している北九州市内のものづくり企業におかれても、国や自動車メーカーの動きに合わせた対応が必要になると考えられます。

そこでパーツネット北九州事務局では、本アンケートにより会員企業様の自動車の電動化による関連製品への対応および脱炭素化による自社付加価値の向上についてのお考えや対応状況について実態を把握し、今後の**会員企業様の競争力強化に向けた****支援施策を策定する資料として**活用したいと考えております（アンケート調査後の展開については次ページを参照ください）。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、調査趣旨をご理解頂きアンケートに記載の上、　**同封封筒にて、　令和４年１２月２６日までに　ご返送頂きたく、**ご協力のほどお願い申し上げます。なおパーツネット北九州WEBにも調査票データ(Word様式)をご用意しています。

本アンケートは、**「電動化に関するアンケート調査」**と**「カーボンニュートラルの取組等に関するアンケート」**の**２つ**からなります。両方ともにご回答をお願いします。

パーツネット北九州事務局

北九州市次世代産業推進課

公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）

* この調査で得られましたデータは、今回の調査以外の目的で使用したり、個別データとして公表することはありません。
* アンケートに記入頂きました方の個人情報は、本調査の問い合わせ以外には使用致しません。
ただし、今後、調査等の協力をお願いする場合があります。

**お問合せ先・アンケート返送先：**

**〒802-0003　北九州市小倉北区米町２－１－２　小倉第一生命ビル４階**

**（株）東京商工リサーチ　北九州支店　（TEL０９３－５５１－１７３１）**

**※本事業の発送・回収については、（株）東京商工リサーチが委託を受けて実施しております。**

**お問合せは、FAIS自動車・ものづくり支援センター（TEL０９３－６９５－３６８５）でもお受けします。**

**■はじめに、ご回答頂きますご担当者の所属・氏名・ご連絡先等を下記にご記入ください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 貴社名 |  |
| 連絡先 | 氏　　名 |  | TEL |  |
| FAX |  |
| 部門役職名 |  | E-mail |  |

アンケートにお進みください。→

～～～～～～～～～～～アンケート調査後の展開（令和5年度）～～～～～～～～～～～

(1)ヒアリング調査等の実施

アンケート調査から関心がある企業を把握、実地にヒアリング調査を行い、深堀した企業実態・ニーズを明らかにする

→国・市やFAISの持つ支援メニューとのマッチングを実施。

(2)支援の実施

電動化対応

①　人材育成・現場改善

* 北九州市・ＦＡＩＳサプライヤー応援隊事業を積極的活用し競争力の強化を図る。

②　ビジネスマッチング

* ＦＡＩＳコーディネータがコンシェルジュとして自動車メーカー等とビジネスマッチングを行い、確実な参入を促進する。

成果は、ベストプラクティスとしてパーツネット北九州内で横展開を図る。

カーボンニュートラル対応

①　省エネ診断や人材の養成

* 希望する企業に対し、国や市が実施する省エネ診断や専門家派遣などを支援

②　改善状況をパーツネット北九州内で集約・共有し、一体的な活動方針・目標を議論

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

パーツネット北九州WEBにも調査票データ(Word様式)をご用意しています。



**電動化に関するアンケート調査**

Ｑ１　現在、自動車部品及び同製造装置等の自動車関連製品を生産していますか。
あてはまるものを選んでください。

[ ] ①自動車関連製品を生産している。→売上げ割合をご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 部品　　　　　　　　　　 | ％ |
| 具体的な部品名（例：モーターコア、シート、マフラー、パワートレイン　など） |  |
| 設備等（部品以外） | ％ |
| 具体的な設備名（例：検査具、治具、金型、油圧器、ソフトウェア、メンテナンス　など） |  |
| 自動車関連以外 | ％ |

[ ] ②自動車関連製品を生産していない

Q２　貴社の電動化に向けた取組※状況について、あてはまるもの１つにチェックしてください。
また具体的内容（例：モーターコア用金型の試作、AIプログラムの実装、など）をご記入ください。

[ ] ①既に取り組んでいる

 　　 具体的な内容（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

[ ] ②具体的な取組の検討を始めている

 　　 具体的な内容（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

[ ] ③取組の検討を予定している

 具体的な内容（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

[ ] ④取り組んでいないが必要性は感じている

[ ] ⑤取り組んでいない　→　Q５へお進みください。

[ ] ⑥その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| 【電動化に向けた取組とは】走行に電気を使う車である、電気自動車（EV）、ハイブリッド車（HV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）これら次世代自動車向けの部品、製造装置の製造またはソフトウェア開発やサービスの提供等を行うこと。 |

Ｑ３ 取組のきっかけについて、あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

[ ] ①取引先からの要請を受けて

[ ] ②経済団体や業界団体等から提案を受けて

[ ] ③関連セミナーや勉強会の受講

[ ] ④社内技術が活用できるため

[ ] ⑤その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ４　自動車メーカーの電動化が進んだ場合、貴社の業績への影響をどのようにお考えですか。
あてはまるものを一つ選んでください。

　　　[ ] ①受注の拡大が期待される

　　　[ ] ②現在の受注や事業にはほとんど影響が無い

　　　[ ] ③現在の生産品目や提供サービスの一部が不要となり、受注の減少が危惧される

　　　[ ] ④現在の生産品目や提供サービスの大部分が不要となり、受注の大幅な減少が危惧される

　　　[ ] ⑤事業への影響は分からない

　　　[ ] ⑥その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ5　貴社で電動化に係る自動車関連製品の生産やサービスを提供する上での制約要因について、あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

　　　[ ] ①人材の不足

　　　[ ] ②求められる製品やサービスの仕様に関する情報不足

　　　[ ] ③生産方法や生産性等に関する情報不足

　　　[ ] ④相談・連携相手の不足

　　　[ ] ⑤開発用設備機器の不足

　　　[ ] ⑥生産用設備機器の不足

　　　[ ] ⑦資金調達

　　　[ ] ⑧その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ6　貴社で電動化に係る自動車部品・同製造装置等の自動車関連製品を生産する上で期待する支援策はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

　　　[ ] ①材料や加工方法、技術、サプライチェーン、新規取引先等に関する情報提供

　　　[ ] ②専門技術者の確保・育成支援

　　　[ ] ③各種設備機器を導入するための補助金

　　　[ ] ④大学・研究機関との連携促進

　　　[ ] ⑤新たな取引先の紹介・ビジネスマッチング

　　　[ ] ⑥公的機関・大学等への共同利用設備機器の導入

　　　[ ] ⑦その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ7　貴社では、自動車部品・同製造装置等以外の新規事業へ参入する意向がありますか。あてはまるものを選び、差し支えなければ、参入希望分野（例：家電、医療衛生製品の製造やサービス、生活関連、住宅・マンション、農業、教育、宿泊業、飲食サービスなど）をご記入ください。

　　　[ ] ①参入希望なし　→　Q１０へお進みください。

　　　[ ] ②参入している（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　分野）

　　　[ ] ③参入希望あり（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　分野）

Ｑ8　貴社で自動車部品・同製造装置等以外の新規事業へ参入する上での制約要因について、あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

　　　[ ] ①求められる製品やサービスの仕様に関する情報不足

　　　[ ] ②生産方法や生産性等に関する情報不足

　　　[ ] ③人材の不足

　　　[ ] ④相談・連携相手の不足

　　　[ ] ⑤開発用設備機器の不足

　　　[ ] ⑥生産用設備機器の不足

　　　[ ] ⑦資金調達

　　　[ ] ⑧その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ9　貴社で自動車部品・同製造装置等以外の新規事業へ参入する上で期待する支援策はありますか。
あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

　　　[ ] ①材料や加工方法、技術、サプライチェーン、新規取引先等に関する情報提供

　　　[ ] ②専門技術者の確保・育成支援

　　　[ ] ③各種設備機器を導入するための補助金

　　　[ ] ④大学・研究機関との連携促進

　　　[ ] ⑤新たな取引先の紹介・ビジネスマッチング

　　　[ ] ⑥公的機関・大学等への共同利用設備機器の導入

　　　[ ] ⑦その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ１０　貴社における自動車業界の変化に対するお考えや取組などについて、担当者が訪問し詳しいお話をお伺いしてもよろしいでしょうか。

　　　[ ] ①訪問可能

　　　[ ] ②訪問不可

　　　[ ] ③その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

次ページ**「カーボンニュートラルの取組等に関するアンケート」**にお進みください。

**カーボンニュートラルの取組等に関するアンケート**

　カーボンニュートラル（製造時におけるCO2など温室効果ガスの削減）に対する貴社の取組状況についてお伺いします。

Q１　貴社の取組状況について、あてはまるものを一つ選んでください。

[ ] ①既に取り組んでいる

[ ] ②具体的な取組の検討を始めている　　　　　　　　Ｑ２へ進みＱ５以外をお答えください。

[ ] ③取組の検討を予定している

[ ] ④取り組んでいないし、今後取り組む予定はない　→　Ｑ５、６、７をお答えください。

Ｑ２　取組のきっかけについて、あてはまるもの３つまで選んでください。

[ ] ①政府の方針を受けて

[ ] ②県や市の方針を受けて

[ ] ③経済団体や業界団体等から提案を受けて

[ ] ④関連セミナーや勉強会の受講

[ ] ⑤企業の社会的責任（ＣＳＲ）の観点から

[ ] ⑥取引先からの要請を受けて

[ ] ⑦社会的に機運が高まってきたため

[ ] ⑧社内での意見から

[ ] ⑨その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ３　取り組む目的について、あてはまるもの３つまで選んでください。

[ ] ①企業の社会的責任（CSR）

[ ] ②SDGｓ・ESG（環境・社会・ガバナンス）への対応

[ ] ③政府・自治体等の行政方針への対応

[ ] ④ビジネスチャンスが見込めるため

[ ] ⑤自社の認知度・ブランド力向上につながるため

[ ] ⑥将来の規制への対応等リスク軽減が見込めるため

[ ] ⑦電気料金などコスト削減の期待

[ ] ⑧環境規制など法令順守の視点から

[ ] ⑨採用活動で有利に働くことが期待されるため

[ ] ⑩取引先の要請に対応するため

[ ] ⑪その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ４　次の項目の中で貴社が「現在行っている取組」、「今後予定（検討）している取組」があれば、あてはまるものをすべて選んでください。現在取り組んでいない、今後も取り組む予定がない項目は空白（チェックなし）で結構です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 現在行っている取組 | 予定（検討）している取組 |
| ①自社の温室効果ガス排出量の把握 | [ ]  | [ ]  |
| ②自社の温室効果ガス排出量の削減 | [ ]  | [ ]  |
| ③省エネ・温室効果ガスに関する目標の設定 | [ ]  | [ ]  |
| ④担当部署・担当者の設置 | [ ]  | [ ]  |
| ⑤見学会・勉強会への参加・開催 | [ ]  | [ ]  |
| ⑥省エネ活動(照明・冷暖房等の使用電力等削減） | [ ]  | [ ]  |
| ⑦生産設備の省エネ設備への切替 | [ ]  | [ ]  |
| ⑧環境負荷の少ない原材料や部品の利用 | [ ]  | [ ]  |
| ⑨再生エネルギー発電の購入・導入 | [ ]  | [ ]  |
| ⑩HV・EV・FCVなどの導入 | [ ]  | [ ]  |
| ⑪３R（ﾘﾕｰｽ・ﾘﾃﾞｭｰｽ・ﾘｻｲｸﾙ）の推進 | [ ]  | [ ]  |
| ⑫環境保護・保全活動等への支援・寄付 | [ ]  | [ ]  |
| ⑬環境配慮型技術の研究開発・投資促進 | [ ]  | [ ]  |
| ⑭環境配慮型の新製品・サービスの開発・販売 | [ ]  | [ ]  |
| ⑮その他（ISO14001、エコアクション21、北九州SDGS登録制度、北九州市脱炭素電力認定制度、省エネ診断、市省エネ機器導入支援補助金など、記入ください） | [ ] （　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　） | [ ] （　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　） |

Ｑ５　取り組まれていない理由について、あてはまるもの３つまで選んでください。

[ ] ①自社へのメリットがない

[ ] ②経営的に取り組む余裕がない

[ ] ③コスト負担が大きい

[ ] ④何をすべきかわからない

[ ] ⑤相談できる相手・場所がない

[ ] ⑥自社の活動が環境に与える影響が小さい

[ ] ⑦カーボンニュートラルの目標達成は不可能なため

[ ] ⑧その他 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ６　カーボンニュートラルに取り組むにあたっての課題について、あてはまるもの５つまで選んでください。

[ ] ①コスト負担の増大

[ ] ②コストに見合う効果が期待できない

[ ] ③コストを価格に転嫁できない

[ ] ④専門知識やノウハウの不足

[ ] ⑤対応できる人材の不足

[ ] ⑥取組に向けた時間・人員の確保ができない

[ ] ⑦取引先や従業員の理解が得られない

[ ] ⑧何をすべきか分からない

[ ] ⑨どこに相談すべきか分からない

[ ] ⑩経営上の優先順位が低い

[ ] ⑪特に課題はない

[ ] ⑫その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ７　本市に期待する支援策やパーツネット事務局で取り組んで欲しいことなど、ご意見・ご要望等があればご記入ください。（自由記述）

以上でアンケートは終わりです。

ありがとうございました。

ご返送をよろしくお願いいたします。